

ニッポンの竹竿職人たちの顔

「私たちはこうしてバンブーロッドをつくっています」

「2011つるや釣具店ハンドクラフト展」に出品した
バンブーロッドビルダー17人のアンケート「回答より」(順不同)
※ロッド写真は54ページに掲載

エイウォール AWOI

■所在地 — 〒779・3126 徳島県徳島市国府町508・2 TEL 088・642・7427
■ビルダー氏名 — 北尾浩伸(50歳) / ビルダー歴22年 / フライ歴35年
■営業内容 — 開業1990年 / 年間製作本数50〜60本 / 納品3ヶ月後
■自社ブランドの特徴 — コストパフォーマンスの高さ。
■自作パーツ範囲 — ガイド、リールシート金具以外全部



AWOI / 北尾浩伸

■過去一年間のロッド最多販売価格帯 — 100000円前後

■製品取り扱い — テムズ(北海道)、ドリーバーデン(北海道)、トラッタ(群馬)、渡辺つり具店(埼玉)、つるや釣具店(東京)、ビーチフォレスト(長野)、ピュアランド(奈良)、やまひろつりぐ(高知)
■年間釣行回数・好きな釣り — 四国内の溪流へ年に10回前後。溪流をどんな釣りがする。じつとしている釣りが苦手なので。

■定番モデルと特徴 — ME7032 / 7フィート#3、ミディアム・アクション / 溪流一般を対象にバンブーロッドが初めての方にも安心して使っていただけ一本。

■自薦モデルと特徴 — Brave special MS7032 / 7フィート#3、ミディアム・スローアクション / 3年前より製作開始したトンキンケンと矢竹のハイブリッド・ブランク・モデル。トンキン4面に矢竹2面のT4Y2は、

トンキンのパワーに矢竹のしなやかさを加えた感じ。トンキン2面に矢竹4面のT2Y4は、矢竹のしなやかさにトンキンの腰を加えた印象。個人的に両タイプを釣り場と気分を使い分けている。

■最近印象に残った釣り — 昨年秋田へ遠征したときのヤマメ釣り。瀬でヒットしてニジマスのように3度もジャンプし、一気に流れを下り、竿を思いきり曲げてくれた。竿は前記のMS7032(T4Y2)。

■竿作りを始めてから現在までに変化はあるか — もともとサラリーマンだったので当時の自分が欲しかった手頃な価格で扱いやすく、仕上げの美しい竿を一貫して作ってきた。年々釣れる魚のサイズが小さく数も少なくなっており、貴重な一匹をより楽しめる竿作りも心がけてゆきたい。

Barada Rod

■所在地 — 〒143・0012 東京都大田区大森東4・39・14 TEL 03・3763・3301
■ビルダー氏名 — 茨田文夫(57歳) / ビルダー歴13年 / フライ歴27年
■営業内容 — 開業2002年 / 年間製作本数20〜30本 / 納期2〜3ヶ月後



Barada Rod / 茨田文夫

■製品取り扱い — つるや釣具店(東京)、マッキーズ(東京)、フライシヨック(東京)、ピギナースマム(大阪)、グリーン&サン(京都)、タックルシヨック(愛知)、加藤毛ばり店(愛知)、直販

■自作パーツ範囲 — スムーズで使いやすい。
■自作パーツ範囲 — 金具は外注。市販品を使用。
■過去一年間のロッド最多販売価格帯 — 147000円

■年間釣行回数・好きな釣り — 東北地方の溪流。とくに秋田、岩手、山形。ドライフライで溪流の釣りが一番。#12位のドライフライで上流域の沢でイワナと遊ぶのが好き。魚のサイズにはこだわらない。

■定番モデルと特徴 — 7フィート #3・2ピースから始まった。しなやかさとキレの良さを併せ持ち心地よさと楽しさを演出する。
■自薦モデルと特徴 — 今年から淡竹